

(様式3)

自己評価結果票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	運営理念は明確な言葉であらわせている	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	いつも目にする所に掲げ、ミーティング等でも折にふれ言い合い実践している	<p>各フロアにて目標を立てて、理念に近づく</p> <p>2階 向き合っていこう</p> <p>3階 利用者様と一緒に過ごす</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	2ヶ月に1回開かれる、運営推進会議にて理解を得地域交流などの折にお話している	
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	民生委員、婦人会、ボランティア、他事業所のケアマネージャーさん、自治会長さんが立ち寄られ花の世話などのご指導を頂いている	
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>・地域の清掃活動に参加</p> <p>・地域のお祭りに参加</p> <p>・地域の新年会に参加</p> <p>こちらの五月会等へのご案内</p>	○ 地域の清掃活動やお祭りにも利用者の様子をみて一緒に参加して頂き地域の方とのふれ合いが出来るようにする

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員 の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮 らしに役立つことがないか話し合い、取り 組んでいる</p>		
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び 第三者評価を実施する意義を理解し、評価 を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価を参考にし、勉強会等を行い日々向上に努め ている</p>	
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこの意見をサー ビス向上に活かしている</p>	<p>包括支援センターより、助言を頂き利用者のご家 族が同業者であることからサービス向上に向けて のアドバイスを頂いている</p>	<p>家族や地域の方にも意見を頂けるようしっかり報 告して行きたい</p>
9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以 外にも行き来する機会をつくり、市町とと もにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>地域包括支援センターと取り組む</p>	
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る</p>	<p>安心サポートセンター職員が月1回来訪して下さ る 高齢者虐待の研修の際教えて頂いた</p>	
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている</p>	<p>4月より虐待・拘束委員会を設置し、それまで も、職員間で勉強会を開いている 6月に身体拘束虐待防止の研修を何回か行い全職 員が参加出来るようにした</p>	<p>2ヶ月に1回委員会を開き検討する</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議に、家族・利用者にも参加して頂き、何でも話しやすい雰囲気をいつも保つように努める</p> <p>苦情に対する返答で公に出来るものはお便りに載せている</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>利用者の暮らしぶりや、健康状態などは、請求書・領収書と一緒に月に2回必ず報告している。また、毎月1回あさがお便りを配布している 急な変化については、電話連絡や面会時に報告している</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族等の意見は、面会時や電話等で管理者職員が話を聞くことが出来ている 職員の顔と名前が一致するように、1階に全職員の写真を掲げている</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>管理者は気軽に話を聞けるよう育成面接を実施、業務報告書で提案の欄を設け表出しやすいよう改善した</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>行事の際には、人員を増加し、手厚い人員配置にしている</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>18</p> <p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>新しい職員が偏らないように配慮し、馴染みの関係を崩さないように努めている</p>		<p>他フロアーの職員も他フロアーの利用者に声掛けや必要時情報の交換をする</p>
<p>5.人材の育成と支援</p>			
<p>19</p> <p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>4月より教育委員会を発足し、また研修を受けた職員がフィードバック、勉強会で報告している</p>	○	<p>法人外の研修</p>
<p>20</p> <p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>関連施設にて、各施設のリーダーによる会議を開いたり、福利厚生でのクラブ活動等で交流を深めている</p>		
<p>21</p> <p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>福利厚生でのクラブ活動(ヨガ・歌)や、勉強会後や、非定期に行うお食事会をし、ストレス軽減をしている</p>	○	<p>リーダーがこまめに小さなズレ、悩みを発見し努力をしている 意見など言いやすい環境にする</p>
<p>22</p> <p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>講師を招いた勉強会の参加の機会を提供したり、リーダー会議、正規職員との会議を開いている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>普段からよく観察し、いつもと様子が違えば早めに対応している(こちらから声かけし、座って視線をあわせじっくり話を聞く)</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>問い合わせの電話や来訪時、話をしやすい雰囲気ですぐに接するよう心がける</p>	
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>紹介を受けたケアマネージャーにも意見を聞いたり、通っていたデイサービスや病院などよりアドバイスをもらう</p>	
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入所前におやつや時間等に来訪してしばらく過ごしてもらい、管理者が自宅訪問し関係をつくる。家族さんも入所前に来訪し、良いイメージをもって利用者に話してもらい</p>	<p>○</p> <p>申し込み時より家族の悩みなどを聞き、信頼関係を築いていくことが利用者に伝わっていく</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>食事の支度、食器拭き、洗濯、掃除等一緒にしながら利用者いろいろな教えてもらっている</p>	<p>家庭菜園などで、一緒に育てたり収穫を楽しむ調理の仕方など教えてもらう</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	利用者を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている	利用者が不穏時は電話で話してもらったり、来訪してもらったりして家族さんの体調などを聞いて協力を仰いでいる 行事や外出時に一緒に参加してもらっている		
29	利用者との家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの利用者との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	手紙やあさがお便りや写真などを送って、面会の少ない方には身近に今の利用者の姿を感じられるよう努め面会を促すひとつの手段としている		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前に所属していた老人会などに籍を置いておくことや、友人の面会等も促している		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	席替えなどを随時行い、利用者同士談話しやすい雰囲気を作り続けている。そのため杖を忘れてたり居眠りをしていたら互いに声をかけ合うなどの支え合いが見られている		
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	長期入院のための契約終了の方が多いので、退院後の行き先を紹介したり、相談に乗るなどしている。家人より死亡されたとの報告やお礼の電話などを頂いている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人に外出、通院の希望など安心サポートや福祉関係との話し合いを設けて利用者の希望に添えるよう努力している 本人の希望で買い物されることもある</p>	
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入所前に利用者の年代別生活の様子など家族にできるだけ記入して頂く、又面会時たずねたりする</p>	<p>利用者本人にも昔話など機会があれば、入浴の時のなどの会話に取り組む</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>バイタルチェックや食欲・睡眠状態・心の動きなどいつもと違うささいな変化も早期発見し情報を共有している</p>	
2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>職員の意見や家族の意向を総合して利用者本位になるように計画している</p>	<p>○</p> <p>介護計画をひらきたい言葉を用いて、家族よりの意見意向がもっともらえるようにする 利用者の変化に応じてミーティングを行う</p>
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>毎日申し送りの後、ミーティングを実施し、ケアカンファレンス等でも検討している</p>	<p>利用者の変化など以前と異なる場合は家族さんと電話、面会時等お話しして一緒に考え、方向を定め必要な関係者とも連携する</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>アンケートに記入して、実践の必要、結果など記入する 介護日誌に変化や気づいたことを残している</p>		<p>ミーティングを行い、ミーティングの記録を記入する</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>家族さんや利用者の希望によりさくら整骨院に通院している</p>		
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	<p>地域資源との協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>民生委員やボランティア来訪あり 消防訓練時消防との関わりあり 警察の巡回あり 実習生を受け入れるにあたっては学校の担当者と打ち合わせをする等のつながりもある</p>		
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>見守り推進委員の訪問 訪問理美容 他のケアマネジャーの訪問</p>		
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>地域包括支援センターの担当者の来訪が月に1～2回あり 利用者と面談、希望に応じてくれ相談にものって頂いている 勉強会の講師もつけて頂いている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族希望の病院などは家族の協力もありなじみの病院へ通院している 他は往診又地域の病院にも通院している		歯科、皮膚科の往診もある
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	必要時家族とも相談しながら受診したり、継続して相談にのって頂けるクリニックとの関わりを大切にしている		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	法人内に10名弱のナースが在籍しており、夜間でも必ず誰かに相談できる体制を整えている		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	早期退院できるよう面会に行った際にソーシャルワーカー、病棟看護師とケースごとに情報交換をしている		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	法人内でもマニュアルを作り実際ターミナルを8名受けている 当施設でも受け入れを前提とし、医師・家族・管理者との話し合いを持って進めている		家族にも医師より病状を聞いてもらい意向などを伝え合う
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	職種ごとの研修を行うなど、不安なことや整備すべきことがないか医師・家族・管理者との話し合いを持っている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	職員の意識をミーティング等での再確認し、折にふれ指導している	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	入浴時や散歩など利用者が話しやすい時に要望を聞いたり、常に利用者が決定出来るような声かけをしている	コミュニケーション記録に利用者の要望を書きとめておく
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	利用者の体調やペースを尊重し、希望にそって支援できるようにし、日々のスケジュールを決めるよう心がけているが十分ではない	自分で時間を見てリビングの掃除をして下さる利用者もいる
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>入浴時の着替えなど本人と一緒に用意する それぞれ好みのおしゃれをされている 訪問理美容を利用する方、家族と行きつけの美容院に出掛けるなどされている また化粧品等本人の希望に応じて購入している</p>	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューを伝え、下準備盛り付けなど一緒に楽しみながらされる方もある ADLに応じて食器拭きに参加される方、台拭きをされる方がいる 食事を楽しくするためおやつや行事食に季節感を入れる等の工夫もしている		
55 利用者の嗜好の支援 利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	ミルク、みかん、あめ、コーヒーなど好みのものを購入されている お茶の時間には何が飲みたいかをお尋ねし応じている		
56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	声かけや誘導をし、必要な利用者には排泄チェック表をつけ、水分出納の結果をナースに報告している またトイレで利用者同士重ならないようスタッフが声かけし、空いているトイレに誘導する朝、更衣時に声かけし下着(リハパンも含む)を交換している		
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	体調などバイタルチェックをし、入りたい時間、湯の温度等、その人の好みに沿うようにしている入浴剤や冬至の時にはゆずを入れる等して楽しんでいただけるようにケアしている		
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	TV、電気、室温、就寝時間、更衣など一人ひとりのペース習慣性に合わせて支援しているが十分ではない		一人ひとりの様子を把握し、心地よく生活して頂きたい
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	調理、洗濯たたみ、掃除など個々の力を活かして役割を決める 庭で野菜や花を植えてお世話をして頂いている		メイク等のボランティアに来て頂く等している

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60 お金の所持や使うことの支援 職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理が難しい方がほとんどである お金がないことによる不安を取り除けるよう「息子さんが払ってくれている、心配ない」等の声かけをしている また職員と共に買い物に出掛けて実際支払いをされる方もある		
61 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	その日にできることできないことがあるが、その気持ちに添えるよう日を事前に決めて行っている 散歩、買い物(コブ)など希望がある場合は天候・体調を見て出かける		庭での外気浴・近所の散歩・コブで買い物等をしている
62 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	個別では家族と一緒に喫茶店や買い物に出掛け、墓参りにも出掛けている 施設全体では花見や遠足に出掛ける		
63 電話や手紙の支援 家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望に応じて職員と共に電話をかけたりにしている		
64 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	各利用者の部屋が広いので、面会時十分くつろいで頂くことが出来ている また1階のスペースを活用して頂く等している		
(4)安心と安全を支える支援			
65 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の研修に参加し、理解を深め身体拘束をしないケアに取り組んでいる 本年度より法人内の新採用研修の受講項目に入れている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	防犯上の問題から施錠してほしいと自治会からも言われて鍵をかけることがある		自由に出られるという気持ちになって頂けるよう支援していく または施錠しないような代替策を検討して行きたい
67 利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者が常に見える位置に職員がいる		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	一人ひとりに応じて置く場所に気をつけて職員が管理している また必要に応じ職員室の鍵のかかる所でも保管している		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハットに記入し対策をすぐに立て、事故防止に取り組んでいる		リスクマネジメント委員会が中心になってミーティングする
70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	新採用時、研修やオリエンテーション時に管理者より指導している またケースごとに既往症も違うので個別の対処法を指導している		
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	いかなる時も冷静に対応出来るよう心がけている 非常用の用品の点検に留意し、利用者が安全に避難できるように消防訓練も定期的に行なっている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72 リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて 家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大 切にした対応策を話し合っている	家族さんには面会、電話、手紙などでお知らせし ている 職員間ではケアノート、申し送りなど でつなげていけるようにしている		職員も家族さんとお話ができるように、すべての 利用者のことを把握していけるようにしたい
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に 努め、気づいた際には速やかに情報を共有 し、対応に結び付けている	異変があるときはすぐに対応し、チェックシート をつけてみんなで確認している		
74 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副 作用、用法や用量について理解しており、 服薬の支援と症状の変化の確認に努めてい る	薬の説明書を見るようにし、薬効や副作用を認識 すると共に、一人ひとりの体調に気を配っている		異常があればすぐに医師に相談し指示をもらう
75 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防 と対応のための飲食物の工夫や身体を動か す働きかけ等に取り組んでいる	水分補給 庭で散歩をして頂いている 入浴をすすめ、お腹をマッサージしスムーズな排 便を促している		食材を活用し野菜を多く取るようにしている
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じ た支援をしている	声かけ・見守り・介助 歯科医師と相談し、本 人・職員にも説明して頂く		
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日 を通じて確保できるよう、一人ひとりの状 態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取を毎日チェックし、水分摂取量の少な い利用者にはチェック表を作って健康状態に気を つけている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	スタンダードプリコーションに留意し4月よりリスクマネジメント委員会を設置し2ヶ月に1回委員会を開き検討する 保険局からの通達をすべての職員が把握しすぐに対応している		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板・コップ・ふきんは定期的にハイター消毒 冷蔵庫の整理は週1回実施し衛生管理に努めている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関の周りにはプランタンで花植え 門などは日中はオープンにしている		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングにはご自分の席があり、壁には利用者と一緒に作った壁飾り 庭で摘んだものや散歩で見つけた野草を置く 時には職員の家で咲いた花を生ける等の工夫をしている		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	独りの時には少し離れたソファが置いてあり、皆さんの様子が見渡せるようになっている TV好きな方はTVの近くに席を用意している		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>83</p> <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居前に家族と相談し、面談後からは職員もアドバイスをしながら使い慣れた物をご持参頂く</p>		
<p>84</p> <p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>利用者・職員の体感温度も大切にし 利用者にも尋ねながらエアコン調節している 10時・15時とおやつ前後、利用者をお願いして窓を開けて頂いたり、湿度を保つようにしている</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
<p>85</p> <p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>手摺り・踏み台など利用しているがハード面での工夫は難しい状況である</p>		<p>大家さんとの交渉になるので、本社とも相談し折り合いを付けハード面で利用者様にとって良い方法を見つけるよう努めたい</p>
<p>86</p> <p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>出来るだけ自分で整理整頓できるようにタンスに表示している トイレや部屋を分かりやすくする為に表札にも工夫している</p>		
<p>87</p> <p>建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている</p>	<p>庭が広いので天気の良い日にはオープンカフェをし日光浴を兼ねて楽しんで頂いている</p>		

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ 大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

お部屋からは海や山が見え気持ちの良さが感じられます。また、キッチンやリビングでは調理、洗濯物など、できる方ができる事をして過ごしていただいています。利用者一人一人の表情、動きなどに気を配り、その人らしく生活できるように見守っている。